

防災通信

一地震への備え
緊急地震速報について

回覧

松原第6町会 2021年 12月 15日版

松原第6町会防災アドバイザー 黒澤

【直近7日間の地震の分布図】

12月に入り各地で大きい地震が立て続けに発生し、南海トラフ地震や富士山噴火の前兆とか、の「うわさ」が流れていますが、気象庁等の発表では、それらの前兆はないようです。しかしながら、糸魚川-静岡（糸静）構造線・牛伏寺断層に近い、松原地区は地震への備えを心がけ、減災に努めるようにしていきたいと思います。

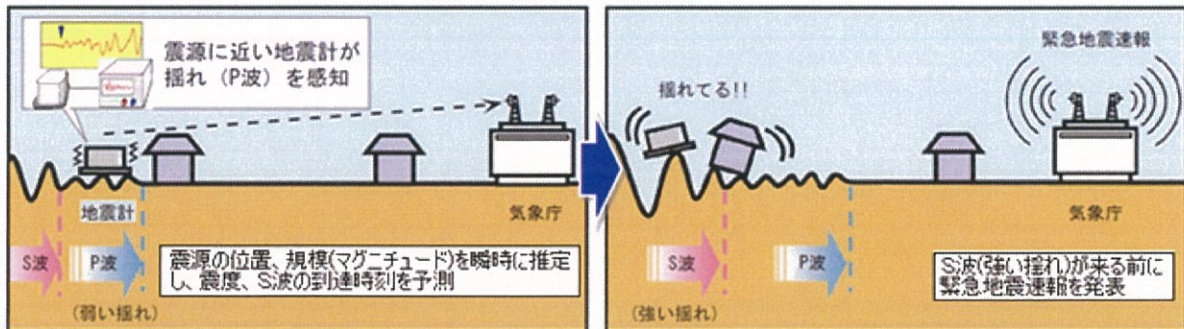
これからの年度内に防災通信は、「地震への備え」を改めてお知らせしていきます。



【緊急地震速報について】

緊急地震速報を見聞きしたらどうするのか、気象庁のリーフレットを別紙に紹介します。

緊急地震速報のしくみ



出典 : 気象庁ホームページ

どんな時に発表するの？

最大震度5弱以上を予想した時に、震度4以上を予想した地域に
対して緊急地震速報(警報)を発表します。

以下の手段で専用の報知音とともに伝えられます。



テレビ・ラジオ



携帯電話・スマホ



防災行政無線

その他、知りたい場所の震度や猶予時間を入手できる受信端末、
スマートフォンアプリなどのサービスもあります。

※一部対応していない機種があります

報知音

緊急地震速報の報知音をあらかじめ試聴しておき、聞いたとき
とつさに身を守る行動がとれるようにしておきましょう。

報知音の主なものには

- ・テレビやラジオ、防災行政無線などで使用されている「チャイム音」
- ・携帯電話会社共通の「ブザー音」

があります。

気象庁ホームページ内には、報知音の試聴ページへのリンクを掲
載しています。

「緊急地震速報を見聞きした時は」

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/koudou/koudou.html>

ご利用にあたって

- 震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わな
いことがあります。
- 緊急地震速報で予想する震度は、±1階級程度の誤差を伴います。
震源が観測点から遠い場合や深い場合は、誤差が大きくなること
があります。

気象庁が、国民のみならず受信端末の設置を義務づけたり、直接設置に向ったりすることはありません！

※緊急地震速報は、公益財団法人気象総合技術研究所と気象庁による共同技術開発と、国立研究開発法人防災科学技術研究所による技術開発の結果により可能となりました

【お問い合わせ先】

気象庁

〒100-8122 東京都千代田区大塚1丁目3番4号

電話：(03)3212-8341(代表)

FAX：(03)6689-2917(東京の本館由な方向け)

気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/>

緊急地震速報について <https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/index.html>



平成30年3月

このリーフレットは、印刷用の紙へリサイクルできます。

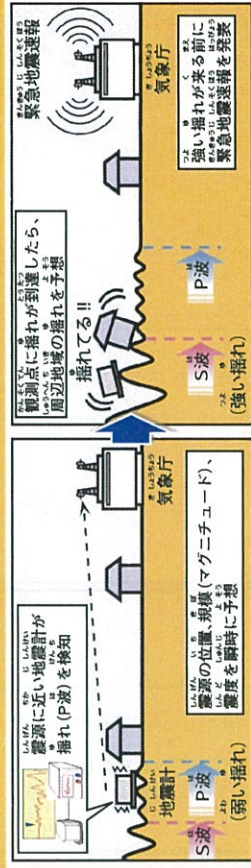
いのち
命をまもるおしらせだ
ぼくたちの

高知県 北岡七海さんの作品

緊急地震速報

地震による強い揺れを事前にお知らせ

緊急地震速報のしくみ



音声コード

気象庁

緊急地震速報を耳鳴したら...
(地震の揺れを感じなくても)

周囲の状況に応じて
あわてず、まず身の安全を!!

地震の揺れを感じたら...
(緊急地震速報がなくても)

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりとつかまる



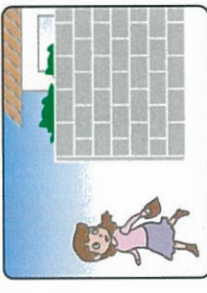
エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる




屋外(街)では

- スロツク塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



自動車運転中は

- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



上記のほか、訪れた施設等において緊急地震速報を見聞きした時は、身を守り、係員の指示に従ってください。

入手手段	基準	内容	特徴
------	----	----	----

【警報】

テレビ・ラジオ
携帯電話(緊急速報メール)
防災行政無線など

震度5弱以上を予想
(震度4以上の地域に発表)

震源地、強い揺れが予想される地域など

原則、一つの地震に対して1回発表
比較的大規模の地震では複数回発表

人が強い揺れから身を守るために活用

【予報】

専用受信端末
スマホ(アプリ)など
※民間事業者が提供

震度3以上を予想
マグニチュード3.5以上と推定

震源地、地震の規模、予想震度、強い揺れの到達予想時刻など

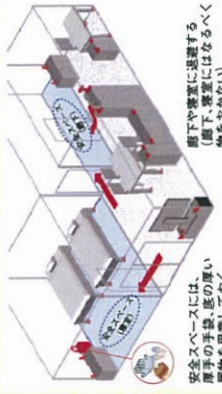
予想内容が変化する度に、複数回発表
知りたい場所の震度や猶予時間がわかる

主に列車や機器の制御などに活用

日頃からの備え

1 「安全スペース」を作っておきましょう

地震の揺れに備えて、寝室や居間など室内のよいところに「物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」スペースを作っておきましょう。
詳細は東京消防庁ホームページ「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を参照してください。



安全スペースには、落下や家具に遭遇する(廊下、居室にはなるべく)厚手の手袋、底の厚い履物を用意しておく(共同住宅の例)

2 訓練に参加しましょう

6月及び11月5日(津波防災の日)前後に緊急地震速報の訓練を実施しています。
訓練を行うための動画やスマートフォンアプリ*もありですので、これらの機会やお住まいの自治体が行う訓練に参加して、定期的に地震から身を守るための対応行動を身につけておきましょう。

* 緊急地震速報訓練を実施するための映像・教材など(気象庁ホームページ)→



シエイクアウト訓練

主催者(主に自治体)が、「科学的な地震災害のシナリオ(訓練の想定)と日時を決めて、「訓練会場」を限定しない」のが特徴の訓練です。参加者は、決められた日時(職場・学校・家庭等のいつでも)も通ずる場所で、シナリオに合わせて地震から身を守るための訓練をします。
詳しくは下記ホームページをご覧ください。
効果的な防災訓練と防災啓発(シエイクアウト)提唱会議 <http://www.shakeout.jp/>

